ことばの変化と社会の関係性を探る



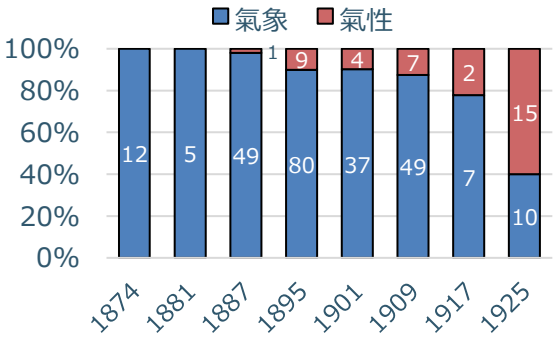
人文学部日本文学文化学科 教授
間淵 洋子
YOKO MABUCHI

■専門領域：日本語史・計量言語学・デジタル人文学
■キーワード：言語変化と社会変革・文学とことば・言語データベース・コーパス・テキストマイニング
■研究者情報：https://researchmap.jp/mabuchiyoko

教育・研究活動紹介

ことばの歴史的変遷

ことばの形や意味、使われ方はどのような過程で変化するのか？ なぜ変わるのか？
ことばが発生・流行・定着・衰退するメカニズムを含めて、ことばの変化とその背景（歴史・時代・ 文化・教育等）について研究しています。

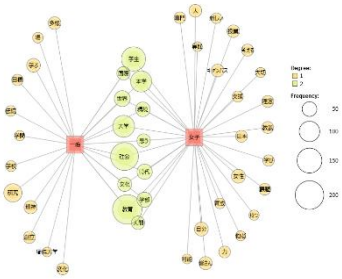


▲「気質」を意味する「キショウ」の表記変遷

文体・語彙の計量分析

夏目漱石らしい文章、村上春樹らしい文章とは？
友達とのLINE、新聞記事、小説、論文、それぞれの文章の違いは？　流行歌の歌詞の特徴は？
文や単語や文字など、ことばの数を比較し統計的に分析することで、 文章を特徴づけるファクターを明らかにする研究をしています。

一般		女子	
教育	.225	女性	.132
社会	.198	皆さん	.096
学生	.165	自分	.089
大学	.162	時代	.082
本学	.137	教養	.069
研究	.114	学び	.062
世界	.092	課題	.058
環境	.069	女子	.057
学ぶ	.063	力	.051
精神	.058	授業	.051



▲学長メッセージに見る女子大と一般大の違い

実学へのつながり・産業界へのメッセージなど

古典から現代まで、ことばのさまざまな側面（単語情報、文字情報、版面情報など）をデジタルデータ化する取り組みを行っています。これらは、LLM（Large Language Model）用の訓練データとしても利用できます。

論文・学会発表など

・「表記実態と国語施策 ： 送り仮名を中心に」『和洋女子大学紀要』第67集、2026年
・「鏡花の語彙と文体 ： 計量言語学的アプローチ」『表現研究』118号、2023年
・『コーパスによる日本語史研究　近代編』ひつじ書房、2021年（共著）
・「近代二字漢語における同語異表記の実態と変化 ： 形態論情報付きコーパスを用いて」『計量国語学』30巻5号、2016年
・国語研変体仮名字形データベース、https://cid.ninjal.ac.jp/hentaiganaDB/
・昭和・平成書き言葉コーパス（SHC）、https://clrd.ninjal.ac.jp/shc/
・日本語歴史コーパス（CHJ）、https://clrd.ninjal.ac.jp/chj/
・現代日本語書き言葉コーパス（BCCWJ）、https://clrd.ninjal.ac.jp/bccwj/
・日本語話し言葉コーパス（CSJ）、https://clrd.ninjal.ac.jp/csj/